

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	栗東市立治田保育園
代表者氏名（管理者）	園長 太田 久美代
法人名	栗東市
定員（利用人数）	150名（138名）
施設・事業所所在地	栗東市坊袋162
TEL	077-552-1079
FAX	077-551-0418
電子メール	yoji@city.ritto.lg.jp
ホームページアドレス	http://www.city.ritto.lg.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2019年9月9日、11日の両日

3、 評価の概要

○ 総合評価

園周辺には小学校（学童保育所を含む）、幼稚園、児童館、コミュニティーセンター等の公共施設があり、国道1号線からも近く、市のほぼ中央に位置する利便性のよい栗東市立の保育園である。

『子どもの人権と最善の利益を守り〈生きる力〉の基礎を培う』と謳う市の保育教育の基礎理念に基づき、全体計画が策定されている。

「元気な子ども」「仲よく遊べる子ども」「考え、表現できる子ども」「感情豊かな子ども」「約束を守れる子ども」を目標に掲げ、一人一人の子どもの生活や情緒の安定を図りながら集団の中で健やかに育つよう園全体で取り組む保育を大切にしている。

昭和29年開園以来、地域のニーズを早くから受け止め、幼稚園、幼児園、小学校、児童民生委員等との連携を大切にしながら地域の子育て施設として先進的な役割を果たしてきている。

今では園の周辺では宅地や道路開発が進み、田園風景がなくなっているが、三世代で利用されている家族の応援等もあり、地域住民との日常のふれあいも大切にしている地域の教育機関として期待されている保育園である。

○ 特に評価の高い点

1. 築年数がたち、老朽化が進んだ建物であるため、職員一同、子ども達に少しでも気持ち良く過ごして欲しいとの思いで、清掃は隅々まで行き届いている。特にトイレには気を配り、古さからくる見た目の不潔感がないように、清潔な環境整備に努めている。
園長のリーダーシップで日頃より園児に対して「暖かいまなざしで接していく」ように職員と共通理解を深めつつ、園児はおおらかで明るい。保護者は入園にあたって保育教育の基本理念、めざす子どもの像、保育教育の目標や保育内容の説明が十分あったこと、子どもの園での様子の連絡に満足していることをアンケートで回答している。保護者の保育園に対する信頼関係は積みあがってきている。
2. 看護師が常駐しており日々の健康管理を行ない、保育士には感染症対策、緊急時の対応等の園内研修を実施している。子ども達にもウガイ、手洗いの指導等について紙芝居等で共通理解するなどにも取り組んでいる。保育士が安心して保育に専念出来る体制を整えている。
3. 園児の発達過程に応じた対応をしている。2才児クラスの園児は約20名いるが、前期は10名2クラスの少人数で運用している。後期は3才児移行を目指して、園児の情緒の安定と発達過程の把握に努めつつ、20名1クラスの運用に変更する体制をとりながら、戸惑う子どものフォローに心がけ3歳児への移行がスムーズに入っていけるような期間をとっている。
4. 毎日、定刻になると、5歳児クラスの当番に当たる園児数名が、職員室の園長席に訪れ、クラスの出席状況や今日のトピックス等を報告している。園児の伝言を園長も真剣に受け止め、クラスで起きたことを正確に口頭で伝え合う学びの場になっている。
5. 廊下には成長過程に応じた給食の献立、子ども達の食事の様子を大きく写真で掲示し、保護者に情報提供している。保護者には好評である。
6. 園児が明るく過ごせるように、床面や壁やトイレを改装した。トイレは洋式にし、2歳児が

自分でトイレに行く練習の場として利用出来る様になっている。トイレ前の廊下でおもろしの脱衣をする2歳児のプライバシー保護のため、廊下に簡易衝立を設置し、玄関から見えないように工夫している。

○ 改善を求められる点

1. 園での事故報告の状況をみていると、園生活の環境が変わる新年度の4月から6月頃と冬場によくみられる。全体的には事例としてはごくわずかで、令和元年度については、6月以降事故件数はない。しかし、どのような事故であれ重大事故になりかねないことから、日頃の園児の活動をみて、継続的にハッとするような子どもの行為を報告しあい、その内容を分析し対応をしつつ、大きな事故に繋がる芽を摘むように努めてほしい。「ヒヤリハット」活動に対して園をあげて組織的な取組みを期待したい。
2. 一次保育について。
栗東市立保育園では実施されていないが、せめて半径500m内に希望者が出て来た場合には、引き受ける姿勢が望まれる。地域貢献の大きな柱の一つと受け止め、地域と共にある保育園として実施に向けて市との協議を始めて欲しい。
3. 保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」・「園だより」や「個別面談」等を通じて説明があるかと言うアンケートの設問に対する肯定率は49%である。残る合計51%の保護者への対応策につき、着実な対応となるようPDCAを回し効果を発揮してほしい。
4. 多くの保護者が不審者対策への不安を持っている（アンケート結果では肯定率52%）。不審者に対する防犯訓練以外にも、防犯カメラの設置や対策の具体的説明を続けるなど不安を減らす工夫・検討を通して防犯体制の充実に努めてほしい。
5. 健康診断結果は異常のある園児に対して連絡しているが、異常の有無に関わらず、保護者に連絡する事で安心に繋がると考えられる。

4、 第三者評価結果に対する事業者のコメント

保護者の方から、また第三者による園評価での様々なご意見をいただき、今後の園運営にかかわって、より良い環境づくりをしていく中での考える機会を得たと思います。本園はここ数年、第三者評価を実施しておりますが、昨年いただいた意見を今年度に、今年いただいた意見を次年度に向けて取り組む中で、園児並びにその保護者の方々にとってふさわしい生活の場になればと考えるところです。近年、子育てを取り巻く様々な環境の変化と保護者の生活形態を反映した園児の生活は、そこでの体験など個々に異なります。園の集団生活が家庭や地域社会と同様に、園児にとって連続した生活の中にしっかりと位置付けられるよう努めてまいります。アンケート結果の中で、園から「懇談会」・「園だより」や「個別面談」等を通じて説明があるかと言うアンケートの設問に対する肯定率は49%という結果でした。このことについては具体的かつ着実な対策を講じる必要があると考えます。日々成長していくお子さんの様子を保護者の方と喜びあったり、また成長していく子どもにどうかかわっていくかを共有したりして、保護者の方と温かい関係をつくっていきます。今回いただいた意見を真摯に受け止め、職員間で共通理解を図り、より良い保育、園運営に努めます。